

広報かわにし

一人口の動き一

2月1日現在

男	5.944人
女	6.221人
計	12.165人
世帯数	2.608世帯

発行所 川西町役場 発行者 川西町 <町長 中村杜吉>
 編集人 星名四郎 印刷所 白南風社 定価 1部5円



川西桐山はこれが最後の投票

今回の総選挙は豪雪によるおおくの話題を残して幕をとした。4月1日をもって松代町に編入がきまっている桐山で28日に1日繰り上げ、川西町のもとで執行するのはこれが最後の投票が行われた。南雲 守写す

犬を愛する人は、ひとも愛すはずです。迷惑がられていてもなかなか飼主の所へ直接の苦情は言にくいものです。愛犬者諸氏よ、自分の真心をひとと犬に示されたい。(衛生係)

米寿のお祝い
 町社会福祉協議会へ中村杜吉会長は、一月一日で呼吸年八十八才になったかたに、お祝いとして座布団一枚ずつを贈りました。本年の米寿該当者は明治十三年生まれの次のかたがたです。

犬の放し飼いを やめましょう
 犬の放し飼いによる被害や苦情がなかなかあとを断たず、特に冬季節になると増加する傾向があります。取締り当局の保健所もこの対策に苦慮しているのですが、何といつても飼主の自覚をまつのが第一で、「愛犬連絡協議会」を組織して、飼主、市町村、保健所警察の関係者で代表の方が集り、種々協議の結果、まず放し飼いの取締りをやり捕獲、飼主の指導、悪質者の告発を二月中に実施いたします。

- ### ◆二月の行事
- 一日 千手地区婦人幹部研修会
 - 三日 給食主任者会議
 - 三日 橋地区婦人役員研修会
 - 三日 木島子ども会豆まき大会
 - 四日 立春
 - 六日 農業技術連絡会議
 - 七日 町議会
 - 九日 乳児体重測定(千手)

- 十日 上野小スキー講習会
- 十一日 上野・千手評議員会議
- 十二日 建国の日
- 十二日 新大研究生(き地教育研究)来町(十八日まで)
- 十七日 中学卒業生講座(仙田)
- 十八日 婦人学級発表会(千手)
- 十九日 家庭の日
- 二十五日 白倉家庭教育学級
- 二十六日 羽黒スキー選手権大会

広報スポット

スキー協会誕生
 町民のスキー技術向上やスキー競技の実施、スキー教室等を開催しながら冬季における体力の増進をはかるという事で、川西町スキー協会(会長高橋忠一)が誕生いたしました。

ことしは、三月に講習会、バツチテストを計画しております。会員は年間一〇〇円の会費で気軽に入会できますので、希望の方は公民館事務局に申し込んでください。

なお、二月二十六日に、羽黒スキー場で滑降、大回転の競技大会を計画しておりますから、町民といたどもふるってご参加がたいませう。

1 町議会報告 ① 給与関係で二百万の補正

町税条例の一部改正も

ことしの初議会は、一月十日に招集され、会期一日で条例改正、補正予算等九件を議決した。

議員の報酬を改正

給与の改定を内容とした「一般職の職員給与に関する条例」の一部改正をはじめ、議員の報酬を改正する「川西町報酬、費用弁償並びに実費弁償に関する条例」の改正及び退職所得に対する課税の改正を主体とした「川西町税条例」の一部改正の三件が上程され、いずれも原案どおり可決された。

議員の報酬月額等は、次のとおり改正された。実施は一月から。

- 議長 長一八〇〇〇円(一六五〇〇)
- 副議長 一四、五〇〇円(一三、三〇〇)
- 議員 一七、〇〇〇円(一七、〇〇〇)

補正予算は、十二月定例会に提出を保留された給与関係の補正でその額は、一般会計二百九十四万五千円、国保事業勘定特別会計十萬円、農業共済事業特別会計十一万七千円、計三百十六万二千円である。財源は、一般会計については市町村民税、固定資産税、たばこ消費税の自然増を合わせて七十四万五千円、地方交付税の増二百二十万の計二百九十四万五千円、国保会計については国庫支出金十萬円、農業共済会計については県支出金十一万七千円となっている。以上いずれも原案可決。なお、ほかに専決処分として衆議院議員総選挙関係の経費七十三万の補正予算が報告され、承認されている。

その他、仙田農協事務所建設助成に関する請願及び橋地区街路灯建設に関する請願が上程され、それぞれ産経委員会に付託、継続審

財政状況の公表
住民一人当りの予算規模
一般会計で 17,580円

地方自治法第二百四十二条の三第一項の規定に基づき、川西町の財政状況(昭和41年12月31日現在)について、次のとおり公表いたします。

昭和42年2月7日
川西町長 中村杜吉

1 才入才出予算の執行状況

会計別	現在高	借入先		借入限度額
		政府資金	その他	
一般会計	7,400	6,000	1,400	
国保事業特別会計	5,000	0	5,000	
国保施設特別会計	17,200	0	17,200	
計	29,600	6,000	23,600	

※ 一般会計款別収支状況は次ページの第一表および第二表のとおり。

2 町有財産の状況

土地 一七五、五六四㎡
 家屋 三七、五七四㎡
 権 三、七七一㎡
 基金 二〇〇千円
 現金 一六五千円

会計別	才出予算現額	支出済額	執行割合	収支差引
一般会計	220,226	159,429	72.39%	1,178
国保事業特別会計	56,286	32,575	57.87%	△600
国保施設特別会計	46,240	37,069	80.16%	△23,040
農業共済事業特別会計	14,457	8,645	59.80%	2,780
計	337,209	237,718	70.50%	△19,682

3 町債の状況

目的別	40年度末現在高	41年度中増減額	現償額	借入先	
				政府資金	その他
一般事業債	10,325	△329	9,996	8,095	1,900
義務教育施設整備事業債	50,389	△915	49,474	49,474	0
厚生福祉施設整備事業債	1,000	0	1,000	1,000	0
災害復旧事業債	12,007	△183	11,824	11,824	0
臨時減税補填債	9,087	3,378	12,465	12,465	0
計	82,808	1,951	84,759	82,859	1,900

預金 一、二二二、三三円
有価証券 四二、八八千円

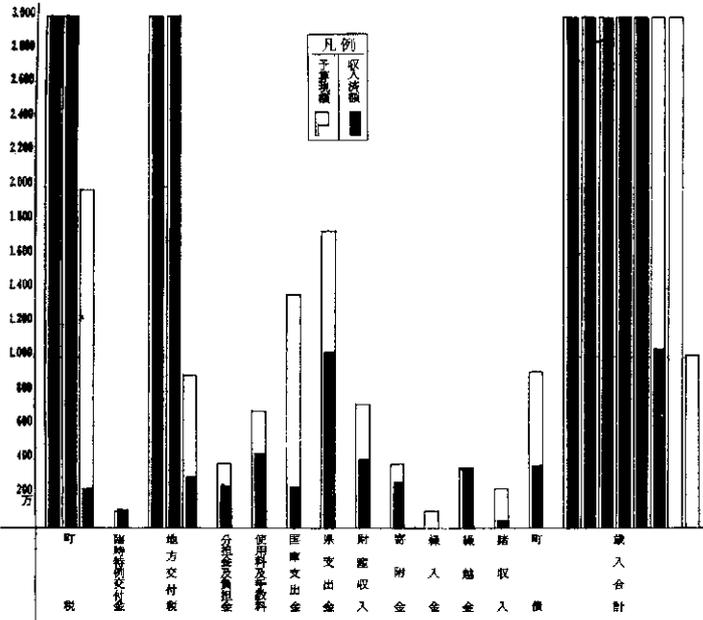
5 その他の町税の分析等

町税の分析(第三表)、一般会計才出予算性質別分析(第四表)一般会計住民一人当り予算状況(第五表)は、いずれも次ページにかかたとおりである。

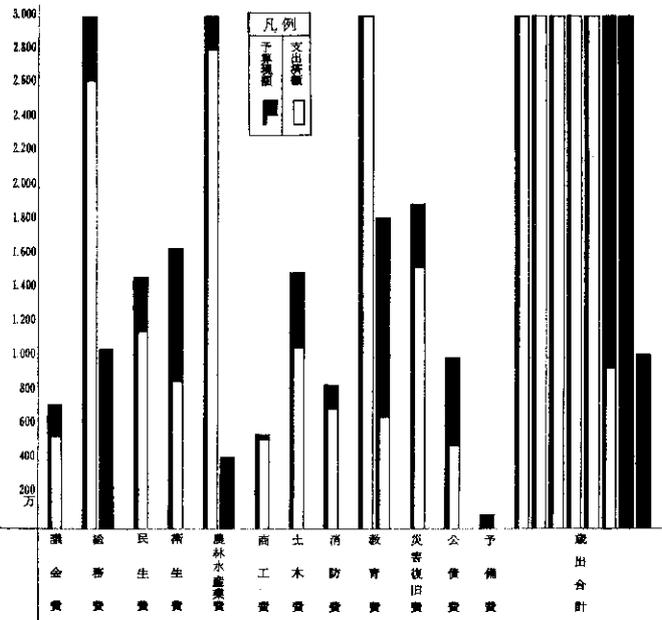
4 一時借入金

会計別	才入予算現額	収納済額	執行割合
一般会計	220,226	160,607	72.93%
国保事業特別会計	56,286	31,975	56.81%
国保施設特別会計	46,240	14,029	30.34%
農業共済事業特別会計	14,457	11,425	79.03%
計	337,209	218,036	64.66%

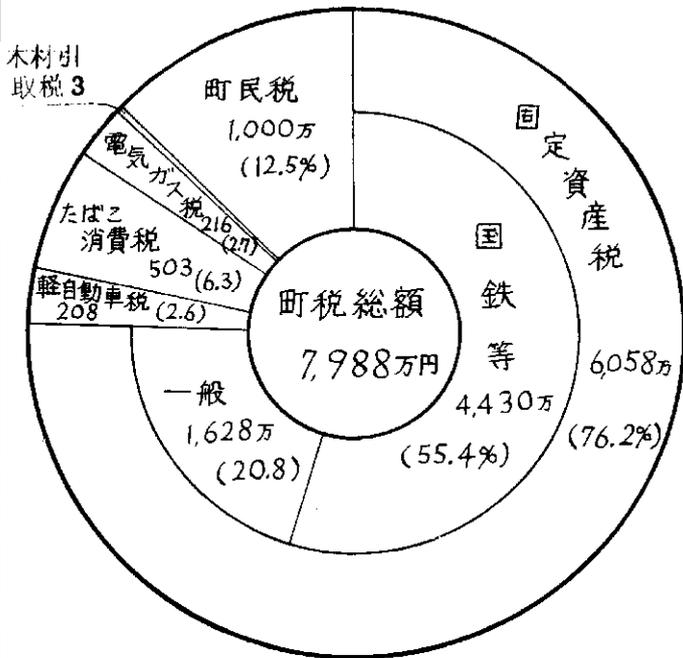
第一表 一般会計歳入状況 (昭和41年12月現在)



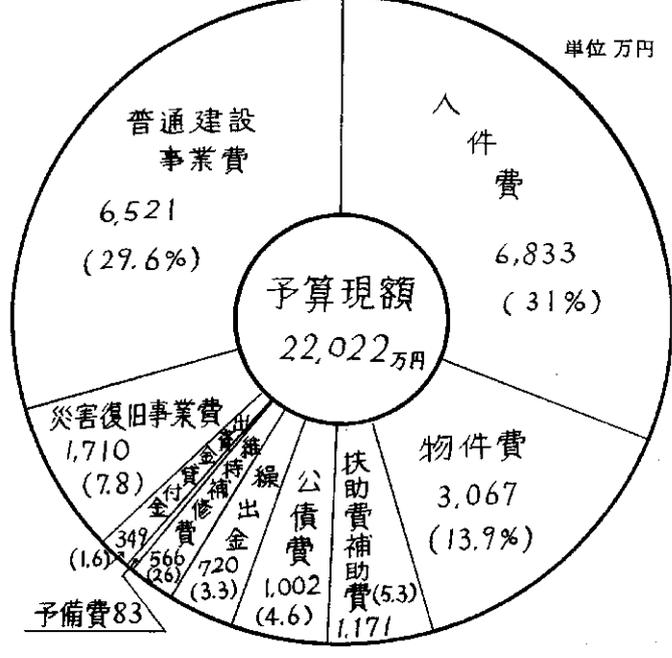
第二表 一般会計歳出状況 (昭和41年12月現在)



第三表 町税の分析 (予算額)



第四表 一般会計歳出予算性質別分析



第五表 一般会計住民一人当り予算状況

住民負担		国鉄等	町その他	果							
町税(除く国鉄)	2,841	町税(固定資産税)	3,336	地方交付税	5,508	国庫支出金	1,101	県支出金	1,400	町債	734
臨時特例交付金	80			臨時特例交付金	5,588						
合計	6,377	合計	17,580	円							

昭和四十二年度分 固定資産課税 台帳の縦覧

三月一日から三月二十日までの間、昭和四十二年度分の固定資産課税台帳を縦覧いたします。縦覧により、課税台帳の価格等に不服のある場合は「固定資産課税台帳の登録事項に関する審査の申出」を縦覧期間の初日から、その末日後十日以内に行なっていただくことになっております。四十二年度分のか変わった点をあげてみると次のようになります。

1. 宅地、山林は評価額に変更はないが、課税標準額が若干前年度をうまわっているものが多い(規定による上昇)
2. 家屋は、経年減点補正率が限度額に達していないもの(建築後二十年程度の建物)は、課税標準額が前年度より若干下がっているが、三十九年以降建築のものは、その後の建築価格の上昇等により、前年度よりうまわっているものが多い。

その他特殊なもので、一部課税標準額が前年度をうまわるものがある。これらに該当しないものは、異動のない限り前年並みです。

縦覧の時間等

1. 三月一日から二十日までの間で、休日を除く日の午前八時三十分から午後五時まで。
2. 場所は、役場三階事務室(税務係)です。

かせ

かせ予防の第一は、不摂生な生活をしていないことと、皮膚の鍛錬に

保健婦だより

かぜは寒い、冷たい、しめっぽい思いをするような機会が随機となつて発病する機会が多いのです。

は例んでも暖めてから着せるようですが、よく乾いていれば赤々々

二月の相談日 橋地区 二十八日 仙田地区 二十日

衆院選開票結果 (川西町)

投票率は 八〇、五〇パーセント

選挙当日の有権者数 一三二票

投票者数 計 男 三六五人 女 四〇四人

投票者数 計 男 二七三人 女 三、四六八人

投票者数 計 男 二、七三二人 女 三、四六八人

投票者数 計 男 七、七四五% 女 八、五七一%

投票者数 計 男 八、〇五〇% 女 六、〇六五票

投票者数 計 男 七、七四五% 女 八、五七一%

投票者数 計 男 八、〇五〇% 女 六、〇六五票

投票者数 計 男 七、七四五% 女 八、五七一%

投票者数 計 男 八、〇五〇% 女 六、〇六五票

投票者数 計 男 七、七四五% 女 八、五七一%

投票者数 計 男 八、〇五〇% 女 六、〇六五票

投票者数 計 男 七、七四五% 女 八、五七一%

投票者数 計 男 八、〇五〇% 女 六、〇六五票

投票者数 計 男 七、七四五% 女 八、五七一%

投票者数 計 男 八、〇五〇% 女 六、〇六五票

投票者数 計 男 七、七四五% 女 八、五七一%

投票者数 計 男 八、〇五〇% 女 六、〇六五票

投票者数 計 男 七、七四五% 女 八、五七一%

投票者数 計 男 八、〇五〇% 女 六、〇六五票

投票者数 計 男 七、七四五% 女 八、五七一%

かぜを引いた人が他人にうつさ

審査に付された裁判官の氏名別開票結果

投票総数 五九〇七票 審査に付される裁判官も の

氏名 岩田 誠 五、〇五票 三、七三票

色川幸太郎 五、〇五票 三、七三票

松田 二郎 五、〇五票 三、七三票

大隅健一郎 五、〇五票 三、七三票

下村 三郎 五、〇五票 三、七三票

柏原 語六 五、〇五票 三、七三票

田中 二郎 五、〇五票 三、七三票

計 三五五五〇票 二、四一八票

無効投票 四八三票

申告所得税

確定申告と納税は 三月十五日まで

申告所得税第3期分の納税について

確定申告で税金を納める方 確定申告で第3期分の税金を納

戸籍の窓から

うぶ声一御すこやかに

- 渡邊 一広 一治郎長男中屋敷 保坂 栄子 信男二女 沖立

たかさご一御円満に

- 新婦 皇名 政信 伊友 新婦 根津 サタ 西口町から

住戸、銀賜番号、銀賜年月日を社 会保までお知らせ願います。

町議会報告② 固定資産税の税率を引き上げ 七日に臨時会

七日に第二回臨時会が招集されたのとおり議決された。
△税率の一部改正 固定資産税の税率を〇・一引き上げて百分の二・八とする改正。これによって四十二年度分約三百二十万(内国鉄二百二十万)の増収となる。
△財政状況の公表に関する条例 地方自治法の規定により毎年二回町の財政状況を公表する時期、内容、方法を定めたもの。
ほかに人事事務組合規約の改正と請願があり、また中仙田教員住宅火災復旧計画等が協議された。

百号の話 三十二年七月十五日に第一号を発行してから八年半今月で「広報かわにし」も百号を数えました。この広報発行にまつわる話題にはことかかないようです。そこで第二号から企画に登場して以来、ずっと同好者のご協力を得てきた「かわにし」併壇のページをくつめてみることにしました。

江口凡石さん

あなたの登載句は八十四句にもなりました

百号にいたるまで「かわにし」併壇を休載したのは第一号は別として途中四回、この間選者も金山柏樹氏(6)31号から太田白南風氏(33号)と本紙の編集人の交代に合せて担当していただいております。
99号までの登載句の集計によると、実数で百二十六名のかたの延七百六十一句を発表したことになりました。
このうち個人別では、小白倉の江口凡石さんがひとりで八十四句をしめ、かりに登載句のベストテンを作るとしたら次のようになります。

- ①江口凡石(小白倉) 84句
- ②金子洋石(大倉) 65句
- ③金子鉄
- ④田中緑風(小) 49句
- ⑤小川辰治(越ヶ沢) 37句
- ⑥高崎正風(学校町) 28句
- ⑦田中翠敏(小白倉) 21句
- ⑧小林たいみ(中屋敷) 21句
- ⑨小林遊人(中仙田) 18句
- ⑩高橋章子、白井トヨ子(ともに中屋敷) 17句

中でも中屋敷婦人学級生の投句がめだち、金子鉄平夫妻のコンビもほほえましく、遠く出かせぎ先から二句、三句と寄せられる熱意にはほんとうに編集部一同頭のがる思いです。(編集部)

町民の文芸として

「かわにし併壇」が広報の一隅に継続して育っているのは広報紙

として当町の特徴であるようです。一般町民が気軽に文芸として楽しんでおられることは前記の実数をみてもわかりましよう。しかもこの同好者の中から今では有数の町の俳人として育っている人もあり、又中屋敷婦人学級のように立派な句集まで出せるようなグループがここから輩出したということも大いに意義のあることのように思われます。その外大勢の人達のはじめに俳句というものを作り、どうにか日々の生活の中で俳句を通して自然を見つめ、豊かな心で明るく生き抜く気構えを味わえたことも併壇があつてよかったかとも思われることです。

かわにし百号を祝う

本紙がめでたく百号に達したことを、この欄を書くときにはじめて知った。スタッフが人知れず努力してきてくれたのに、それを気づかないでいたとは、まことに申しわけない話である。編集を担当していたころは広報がいつも頭からはなれず、発行のたびにやれよかったです、ひとり号数を数えて喜んだものだった。人様がやってくる、これも無責任になつてしまふものだろうか。

今から九年前の、ある暑い日だった。町長が呼びだ、といわれ町長室へ行ったら、こんど役場で広報を出すことにした。町と住民の心をなぐ大事な仕事だ。その編集をお前がやれ、はじめての

貰つたよつな裏話もあります。なお上位下位についての掲載順位は選定しておりません。ただ特に佳趣あるものとして〇印を付す程度にいたしてあります。投句した方はなるべく一句でも掲載してあげたいのですが、これは紙面の都合上やむを得ないこともあります。投句される方はせめて四五句を見て頂きたいと思つています。やはり説明だけでは詩になりませんのでふう詠するようにつとめ、内容を感懐ゆたかに、素直な表現で誰にもわかり易く、町民の生活の中に楽しく生まれる俳句であるようにねがつています。(太田白南風)

青年学級自治会が 晴れの受賞

一月二十二日新潟市体育館で開

ことでもあり、かきりつきりでもいらぬまいから一月おきに発行したかどうか、といわれた。さほどのこともあるまいと引き受けてはみたが、いざ編集にとりかかってみるとまどうことはかかっていた。幸い、第一の広報「たちはな」を編集した丸山精二郎氏がいてくれたので、議会関係の記事をいっさいお願いしたほか、文法やかなづかい、見出しのつけかたやレイアウトなど、そのつどこまかに教えることができた。太田長栄氏をはじめ、白南風社が丸一となっての協力体制もうれしかった。もう百号になったか、そう思いながら当時の広報に目をとおして見た。そのときどきの、きこちな



かかれた青少年のついで新潟県大会(主催青少年育成県民会議)の席上、優秀団体として川西町青年学級自治会が表彰の栄にかがやき、約三千人の参加者がみまもる中で代表の丸山和子さんが県知事から賞詞と記念品を授与された。
教委関係表彰
教育委員小林誠治さんは一月二十七日全国市町村教育委員会連合会創立十周年記念式典に際し、永年教育委員として勤続した功によって表彰された。
また、数藤彦三さん(現水道係長)と金子幸作さん(社会教育主事)が、さる三日新潟市で開催された県市町村教育委員会連合会総会の席上、優秀職員として表彰を受けた。
いちばんうれしかったのは、読者からたえずお叱りや励ましの意見をいただいたことであつた。どんなによいと思つた編集でも、それに対して読者がウンともスンともいってくれないと不気味だ。良い悪いを遠慮なくきかせてもらうことが、結局は担当者にフアイトをわかせ、より充実した広報をうみだすカギになるのではないかと北村準一氏には発行以来ご協力をいただき、とくに二十二、三三の発行には編集長としておほねおりの願つた。三十三号から星名四郎氏が受け継いでくれた。いかに手腕集はたいへんな仕事だが、それを毎月欠かさず発行し、百号を数えた実績には頭がさがる。百号を心から祝い、今後に期待している

「家庭の日」のアンケートから

木島子ども会

家庭内の子どもが心身ともにたくましく、すこやかに育ってほしいと思うのは両親はもちろん家族全員の願いでありましょう。

このことについて、県や町でもいろいろの対策がたられていますが、これらの対策の中で家庭の日が重点的にとりあげられ、昨一月から毎月第三日曜日を「家庭の日」として、明るい家庭づくりを推進していこうということになっております。

各家庭が、せめてこの「家庭の日」だけは子どもを中心として話し合い、これをわが家の楽しい行事として、各家庭に合ったやり方で実践してはほしいものだと思います。

それぞれの家庭がどんなやり方で家庭の日をすごしているのか、各家庭によってやり方がいろいろあると思います。アンケートをとってまとめてみました。

このアンケートは会員三十六名の子どもを会員に答えていただきました。

アンケートの目的は「家庭の日」を子どもを中心として実施しているか、どんなすごしかたをしているかをつかむことです。

この資料が、「家庭の日」を実施するに当って何か参考になればと考えたわけでありました。

「家庭の日」は、子どもを心身ともに健康に育てる大切なわが家の行事であると考えてくださるなら今後、この機関において実施する

川西町の全戸に対するアンケートに答えていただくことも、青少年を健康に育成するため大いに役立つものと信じます。	このアンケートが、これから家庭の日を実施していく上で、多少でもみなさまのお役に立っていたければ幸いです。	「家庭の日」アンケート結果	ア、あなたは家庭の日を知っていますか。	1.知っている 31	2.知らない 0
イ、あなたの家では「家庭の日」を実施していますか。	1.実施している 25	2.実施しない 4	ウ、あなたの家の「家庭の日」はいつですか。	1.第三日曜日 15	2.家族で話し合いをして決める 7
3.第三日曜日以外の特定の日 2	エ、何を書かないものか。	1.「家庭の日」にはどんなことをしていますか。 7	2. 1. みんなで話し合いをする 8	3. 2. みんなで協力して家庭の仕事をする 11	4. 3. 親子そろってゲームやたのびをする 8
5. 4. 親子そろってよそに遊びに行く 5	5. 5. どちらを作ってもらう 16	6. その他 1	7. 7. (※何も書かないもの) 7	8. 8. 1. みんなで話し合いをする 8	9. 9. 2. みんなで協力して家庭の仕事をする 11

6. その他 1 (※何も書かないもの) 5

①一軒で幾つも書いたものがあつたため、多くなつてゐる。

オ、答えた人はだれでしょう。

1. 小学生 20

2. 中学生 8

3. おとな 3

青少年育成国民会議 作文論文標語募集

○主題(少年の部)

「わたくしの努力していること」

将来こういう人になりたい、このような生き方をしたいなど人それぞれに夢と希望があります。そして、このような目的を表現するために、また一日一日を意義あるものとするために、わたくしたちはいろいろな努力をしています。

そこで、日ごろあなたが心がけ努力していることなどをできるだけ実際の生活を中心にして書いてください。(四百字原稿用紙十枚以内)

○主題(一般の部)

(1)現代における青少年の役割、現代に生きる青少年は、どのような問題意識をもち、どのような生き方をするのがよいか。青少年の果たすべき役割を青少年自身の立場から、また一般成人の立場から自由に論じていただきます。

(2)青少年育成についてのわたくしの提言

青少年育成国民運動をより効果的に、力強く盛り上げるためには、どのようにしたらよいかについての率直な意見、あるいは青少年の健全育成や非行防止のためにどの

ような方策を講じたらよいかについて、体験を通じての具体的な提案を求めます。(四百字原稿用紙二十枚以内)

○標語主題

(1)青少年の誇りと責任についての白鷺を高めるもの

(2)青少年育成国民運動をうたつたもの

○送付先 東京都港区芝公園十二号地 日本女子会館内

青少年育成国民会議事務局論文標語募集係

○切期日 昭和四十二年二月二十日(当日消印有効)

○住所、氏名、生年月日、性別、職業、勤務先(学校、学年)を原稿用紙に明記のこと。

○本人の作文、作品で未発表のものに限りません。

○表彰

各種別最優秀賞一名には内閣総理大臣賞、青少年育成国民会議会長賞および記念品又は副賞(論文一般の部二十万円、標語三万円)他、優秀賞各十名程度には会長賞および記念品又は副賞(論文、一般の部五万円、標語一万円)他、佳作各若干名にも会長賞および記念品を贈る。

○入賞者には通知するとともに三月中旬の新聞、テレビで発表する。

▽嘱託員さままる……①

千手地区

◎中島町平野野次◎山野田桑原和

平◎発通所通り藤巻浩三◎永公西樋口勝四郎◎永公東組小滝和一◎下平田中吉太郎◎四郎兼南雲益郎◎東善寺平野金次◎上町石沢邦治◎中央町山崎芳夫◎山中町清水武雄◎神社町田辺幸二◎学校町星名辰治◎中屋敷渡辺忠治◎寺尾清水順一◎木島小海昭一◎沖立数藤喜平◎伊友村山義雄◎高原田村山勇太郎◎坪山中村篤作◎稲条星名福治◎鶴吉渡辺常治◎平見市川郡平◎木島公舎長谷川孝平

上野地区

◎上野上村忠雄◎新町新田内山恵雄◎元町押木増雄◎下平新田沢口武三郎◎三領水品正一郎◎小根岸小海八太郎◎任代中島増三◎星名新田田村文作

桶地区

◎木落羽鳥湖市◎寺ヶ崎藤巻敏志◎塩幸高津 正◎仁田小幡藤策◎野口村越太郎◎原田丸山仁治◎根深丸山茂吉◎下原丸山宗太郎

仙田地区

◎中仙田小林猪作◎室島増田益平◎藤沢佐藤愛子◎田戸樋口虎一◎越ヶ沢川崎喜一◎赤谷登坂敬恒◎岩瀬中條一男◎大倉中條幸一郎◎大倉高橋克義

小学校新入生 (二月一日現在)

千手小学校	男子 二一	女子 二〇	計 四一
上野小学校	一七	一一	二九
桶小学校	一八	一五	三三
中仙田小学校	一〇	一三	二三
仙田小学校	一五	六	二一
赤岩小学校	九	四	一三
白倉小学校	六	六	一二
計	九六	七六	一七二

人事

(十二月三十一日付)

退職 中田芳子 千手診療所 (一月一日付)

異動 小川京子(百籍) 千手診療所

かわに俳壇

太白白南風選

小白倉 江口 凡石

○桶と桶雪壁沿いにすれちがう 冬至梅咲く様な日のついに無し 鉢の梅もろ少しと云ふところ 入日射オーバ脱ぎあり冬座敷 真綿さる明りに高き雪の山 全投句揃うとうことを遂に成しとけた。

和歌山にて 金子 洋石

湯豆腐に妻と向いて外は風 片言の子と語りひの炬燵かな 寒卵丸さ微温を掌に

小白倉 田中 翠歌

湯戻りのタオル凍りぬ寒の月 外灯の写りて光る軒水柱

山野田 小川 越人

夜の街のしづか大きな雪降りぬ ガラス戸の氷絵模様栗に入る

中屋敷 小林伊志子

投入れの梅ほんのりと春を待つ 朝まだきよりそり出して遊余子よ 星名新田 渡辺チヤウ

東の問を宿舎の子等と瓶を上ぐ 寺尾 高橋 章子

供餅煙に包まれ初かまど あどけなき子の名宛るる賀状来し 寺尾 小海美沙子

三朝祈聞きつつ庫裡の屠蘇支度 大倉 中條 鉄女

むささびの鳴く大杉の寒の月